



# ☆☆ニュースレター☆☆

第126号  
発行日:2014. 11. 25  
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長: 稲垣 正彦

発行責任者: 事務局長・桑原 正明

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX: 043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

## \*事務局から\* 前号第125号発行(10/22)以降の主な活動と催し

<環境部> ・10/24 花の撤去と土づくり(南ユーカリと本部花壇) ・10/30 佐倉市より花苗の受領(今季はパンジーとビオラ) ・10/31 花苗の植え付け

<防犯部>・10/26 ユーカリフェスタの警備 ・10/27 & 11/25 第6回&第7回井野小「アイアイプロジェクト情報交換会」 ・10/31 志津小「下校指導者連絡会議」

・11/3 ユーカリが丘6丁目防災訓練(パト車による広報告知と町内見回り警備) ・11/4 青色防犯パトロール実施者情報交換会 ・11/23「ふくし祭り」

<共通>・11/8 第63回仲間と歩こう会---「ミステリー・ウォーク」には34名の参加があり、「とある急坂」や「とある古刹」などを楽しみながら好評理に終了しました。 ・11/20 芋煮会---あいにくの雨となったため屋内での開催となったが、38名が集い楽しむことができました。

・「パークゴルフ」のススメ---真夏をのぞきほぼ毎月開催されているパークゴルフ。まだという方は参加してみませんか。芝の上をテニスボール大の球を一本のクラブで打ちながらホールインを狙うゴルフに似たスポーツで、借り用具代を含めて1400円と値段も手ごろなので初心者でも十分楽しむことができます。酒々井会場の他に最近、佐倉・直弥にもコースがオープンしました。



## 会員投寄稿 -34- 「北海道旅行・大失敗のち“晴れ”」 (小林 弘司)

それに気づいたのは京急線羽田空港駅を降り長いエスカレータを上る途中であった。初めて見る国内線第二ターミナルの円天井はまるでヨーロッパの古い教会のように美しく、カメラで撮影しようと思った瞬間、「あっ！」と大きな声が出てしまった。背負っているはずのリュックがない！ 中には一眼レフなどカメラ2台+大型望遠レンズ、財布など、機内に持ち込む必要品を入れていたので、真っ青。妻を出発階に残し、駆け足で地下ホームに戻ると電車が停まっていたので、目指す棚を見たが、ない。それもそのはず乗ってきた電車はすでに折り返しで出発



していたのです。すぐさま駅員に事情を話し、結果を携帯電話に知らせてとその場を離れた。15分ぐらい経って“それらしきリュックが見つかり、京浜蒲田駅で降りました”と連絡が入ったので、まずはホッと一安心。では最初の空港行き電車に積んでくださいと丁寧に懇願したのですが、“それは出来ません”の一点張り。時間もないので、当日の引き取りは潔く諦めました---それだけ忘れものも多く、その都度送り返しなどしていたら本来業務に支障をきたすのだろうと、不承不承納得しました。

恥の上塗りを覚悟で披露すれば、旅行に関わる類似のへまは初めてではなく、成田空港には一度ならず忘れ物を家人に届けてもらったり、最寄り駅からタクシーで家に戻ったり。海外のある街では子どもと乗ったメリーゴーランドの足元に

あろうことか家族全員のパスポート、財布や苦労して作った旅程表など入れた手持ちの貴重品袋を忘れたことに移動中のタクシー内で気づき、急ぎ元の場所に戻ってもらうなど、肝を冷やす経験は何度かありました。大きな声を出すたびに妻は『今度はなに！？』と呆れるばかりで、私への信頼度は下降線をたどる一方です。へまをした張本人より、心臓の動悸が外まで聞えるように動揺する顔を直視するのが辛い。諸兄諸姉にはこんな経験はないのでしょうか。旅行の失敗談を一つ二つご紹介いただければ、筆者としてはいくらか溜飲を下げる事が出来るのですが…。

さて北海道は日本最北の稚内。ノシャップ岬や宗谷岬は予報どおりで、風速20m超と思われる暴風が吹き荒れていました。歩くのもままならず、停車中のバスも大きく揺れる程で、海からは波しぶきが横殴りに降り注ぎ、口の周りは塩でしょっぱい。それでもツアー同行者からは感動の面もちで“忘れ難い貴重な体験ができました”



との声が多く聞かれたので、何が幸いするか旅は不思議です。妻が持参した小さなデジカメで撮影を試みたのですが、持つ手は風でぶるぶる。それでも後で見たら何とか写っていましたので、最近のカメラは実に優秀です。

2日目からは抜けるような快晴が続き、初冬なのに絨毯を敷き詰めたような牧草地の緑と菜の花に似た芥子菜(からしな)の黄色が織りなす景色は、ガイドではないけれど「美瑛的」の表現がぴったりです。草を食む乳牛や放牧された馬、農作物などに悪さをするというエゾシカ、湖や畑

地に群れる南へ飛び立つ前の白鳥、まっすぐ続く長い道路、サロマ湖に沈む夕日、陽を浴びると茶黄色に見えるカラマツ、白樺林、更には網走から見える知床半島の山並みなど、北海道ならではの美しい景色を見ることが出来ました。サロマ湖畔のホテル



で朝食時、隣の席に座った若いカップルに話しかけたら台湾からという。初めての日本というの

に、いきなりこの時期にこんな場所になぜと訊いたら“台中にはない雪を見たい”というので



す。内陸の旭川辺りはいざ知らず、稚内でも見られなかったのにと気になりながらも、来日への歓迎と東北震

災時いただいた台湾人からの支援に謝意を述べたところ、理解してくれたようで、微笑んでいました。

羽田空港に戻り京浜蒲田駅で途中下車して、無事リュックを引き取る事が出来ました。

考えてみれば合計数十万円もの品物が入ったカギ無し荷物を保管料や手数料なしで3日間も預かってくれるのは日本ならではのようです。これが外国だったらと、日本の良さを再認識しつつ反省しきりです。都合よく考えれば、旅の途中重い荷物を持ち歩く労から解放されたし、撮影時間を気にすることもなく過ごせたことに感謝しなければと、開き直りのプラス思考で帰宅しました。(2014-11-7 記)

#### \*新入正会員紹介:

「小野寺 國夫(おのでら くにお)さん」(宮ノ台1丁目在・11月7日入会)

“10月末で会社勤めを終了したので、今後は地域で少しでもお役に立てることを希望しています” 趣味:「読書・音楽鑑賞・空手」など

「千葉 忠男(ちば ただお)さん」(宮ノ台3丁目在・11月21日入会)

“本部前のポスターを見て入会しました” 趣味:スキー、ゴルフ